

# 事務事業事後評価表

## 《基本情報》

事務事業の名称 【1】	勤労青少年ホーム管理運営事業		所管課【2】	商工観光課
			評価者(担当者)	津川 隆一
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	④活力とにぎわいのある産業のまちづくり		
	主要施策(節)	(3) 製造業・工業の振興		
	施策区分 (市民意識調査結果)	<input type="checkbox"/> 【A】重点改善領域 <input type="checkbox"/> 【B】重点維持領域 <input type="checkbox"/> 【C】観察領域 <input type="checkbox"/> 【D】維持領域		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 勤労青少年福祉法、玉名市勤労青少年ホーム条例 】			
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		款	7 項 1 目 5 細目 1

## 《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	勤労青少年に対し、各種相談に応じ必要な指導を行なうほか、レクリエーションやクラブ活動など労働の余暇に行なわれる活動のために便宜を供与する目的で設置された勤労青少年ホームを適正に維持管理する必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	勤労青少年、市民
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	働く青少年が余暇を活用し社会人としての教養や知識を身に付けたり、体力づくりを行う場を提供する。

## 《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
	【 年度】                 【 H17 年度から】                 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理者制度 】
事務事業の具体的内容 【14】	事務事業を構成する細事業【15】
	・勤労青少年ホームの指定管理に関する基本協定に基づき市の負担による修繕を行う。 ・勤労青少年ホームの指定管理に関する基本協定に基づき適正な管理運営を行わせる。
	① 勤労青少年ホーム維持管理業務 ② 勤労青少年ホーム指定管理業務 ③ ④ ⑤

## 《事務事業実施に係るコスト》

		H24年度決算	H25年度決算	H26年度決算	H27年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	12,901	12,964	13,482	11,991	
	【16】 小計	12,901	12,964	13,482	11,991	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0	0	0	
	職人 員 の 費	職員人工数	0.21	0.21	0.21	0.21	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,610	5,424	5,424	5,424	
【17】 小計		1,178	1,139	1,139	1,139		
合計		14,079	14,103	14,621	13,130		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 勤労青少年ホーム維持管理業務	指定官理の基本協定に基づき、市の負担による修繕を行う。	修繕箇所数	箇所	0	0	1	0
② 勤労青少年ホーム指定管理業務	指定管理の基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	245	245	245	245
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	H27実績
1 利用者数	勤労青少年ホームの利用延べ人数	人	21,000	21,000	21,000	21,000
			21,350	16,429	18,431	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)C	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	勤労青少年の福利厚生施設としての設置目的が薄れつつある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定)B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	勤労青少年の減少や若者を取り巻く社会・経済環境の変化によるものと考えられる。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定)B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	玉名市公共施設適正配置計画により検討を行った結果、青少年利用が半数以下と設置目的と合致しておらず、談話室や軽運動室の利用が主であるため、周辺の類似施設との集約化を引き続き検討する必要がある。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	働く青少年が余暇を利用し、社会人としての教養や知識を身につけたり、体力づくりをする場の提供の場として、継続する必要性はあるものの、近年の少子化に伴う青少年の減少に伴い、利用者が減少するなか、周辺施設との有効活用など今後のあり方について検討する必要がある。また、すぐに事業の廃止・休止を実行するものではないため、利用者を対象としたアンケートを実施し必要性について意見を集約するとともに、公共施設適正配置計画を踏まえた検討を行うこととしている。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	働く青少年が余暇を利用し、知識や教養を身につけるために交流の場を提供することは必要であるが、青少年の減少は顕著であり周辺施設との有効活用は進めるべき課題である。	評価責任者 上野 伸一
------------------	--	----------------